

みずほCustomer Desk Report 2025/02/21号 (As of 2025/02/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	151.13 AUD/USD
TKY 9:00AM	151.22	1.0421	157.60	1.2582	0.6341
SYD-NY High	151.45	1.0503	157.61	1.2671	0.6404
SYD-NY Low	149.40	1.0420	156.35	1.2580	0.6329
NY 5:00 PM	149.64	1.0502	157.12	1.2670	0.6402
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,176.65	▲ 450.94	日本2年債	0.8200%	0.0000%
NASDAQ	19,962.36	▲ 93.89	日本10年債	1.4400%	0.0100%
S&P	6,117.52	▲ 26.63	米国2年債	4.2689%	▲0.0019%
日経平均	38,678.04	▲ 486.57	米国5年債	4.3462%	▲0.0178%
TOPIX	2,734.60	▲ 32.65	米国10年債	4.5063%	▲0.0274%
シカゴ日経先物	38,555.00	▲ 450.00	独10年債	2.5335%	▲0.0155%
ロンドンFT	8,662.97	▲ 49.56	英10年債	4.6085%	▲0.0015%
DAX	22,314.65	▲ 118.98	豪10年債	4.5370%	0.0160%
ハンセン指数	22,576.98	▲ 367.26	USDJPY 1M Vol	10.75%	1.46%
上海総合	3,350.78	▲ 0.76	USDJPY 3M Vol	10.31%	0.48%
NY金	2,956.10	20.00	USDJPY 6M Vol	10.15%	0.33%
WTI	72.48	0.38	USDJPY 1M 25RR	▲1.52%	Yen Call Over
CRB指数	316.58	▲ 0.05	EURJPY 3M Vol	10.53%	0.34%
ドルインデックス	106.37	▲ 0.80	EURJPY 6M Vol	10.38%	0.21%

東京	東京時間のドル円は151.22レベルでオープン。明日公表予定の本邦1月CPIへの警戒感や日本株が下落幅を拡大させる動きもあり、150円台半ばまで下落。その後、植田日銀総裁が石破首相との会談について、足元の長期金利上昇について話題が出なかったと述べたことも材料視されてか、円買いの流れが続くと、150円台前半まで値を切り下げた。結局、150.14レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル/円は150.14レベルで始まり、149.91—150.43円で取引された後、150.07レベルでNYへ渡った。ドル円は2024年12月初旬以来初めて150円を割り込んだ。ドイツの1月PPIは、前月比-0.1% (予想0.5%)、前年同月比0.6% (予想1.2%) で、予想を下回ったが市場は特段反応しなかった。ユーロドルは1.0432で始まり、1.0424と1.0446の間で取引され、1.0436でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。日銀の早期利上げ観測が強まった事や、アジア株の軟調な展開を背景とした円買いが優勢となり、じり安で推移し、150.07レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を上回った事を受け、リスクオフの円買いが強まり、149.40まで下落する。午後は下げ渋り、149.80付近までじり戻し、149.64でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。ユーロ圏2月消費者信頼感指数が予想程悪化しなかった事を受け、じり高で推移し、1.0436でNYオープン。午前中は米長期金利の低下を背景としたドル売りが支えとなり、1.0470付近まで上昇。午後は新規材料乏しい中、ユーロ高の展開が続き、1.0503まで上値を伸ばし、その後1.0502でクロス。

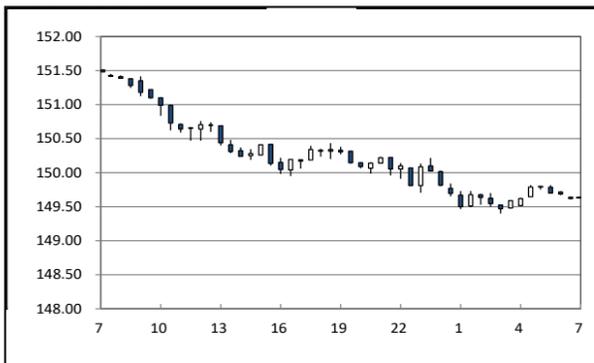
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月20日	09:30	豪 雇用者数変化	1月 44.0k	20.0k
	09:30	豪 失業率	1月 4.1%	4.1%
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 -0.1%/0.5%	0.6%/1.2%
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	2月 18.1	14.3
2月21日	22:30	米 新規失業保険申請件数	15-Feb 219k	215k
	00:00	欧 消費者信頼感・速報	2月 -13.6	-14

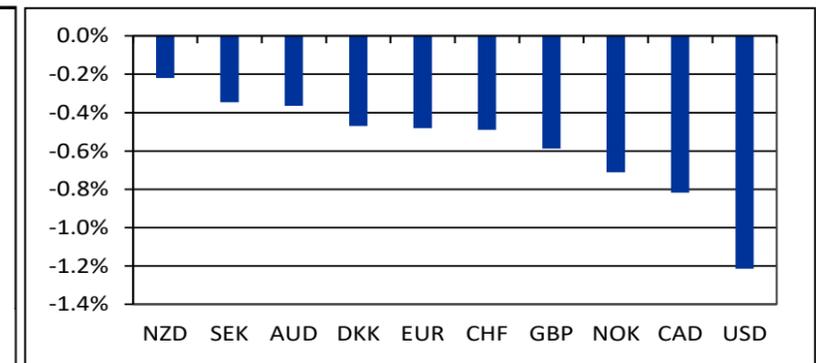
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月21日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	1月 4.0%/3.1%/2.5%	3.6%/3.0%/2.4%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	2月 -22	-22
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 0.9%/0.6%	-0.6%/2.9%
	17:30	独 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	2月 45.5/52.5/50.8	45.0/52.5/50.5
2月22日	18:00	欧 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	2月 47.0/51.5/50.5	46.6/51.3/50.2
	22:30	加 小売売上高(前月比)	12月 1.6%	0.0%
	23:45	米 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	2月 51.4/53/53.2	51.2/52.9/52.7
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 67.8	67.8
	00:00	米 中古住宅販売件数	1月 4.13m	4.24m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.00-150.30	1.0400-1.0550	156.30-157.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な値動きとなった。米長期金利の低下と国内金利の上昇に伴う日米金利差縮小の思惑や、株安などのリスク要因で、東京時間から円買いが強まり、ドル/円は下落基調に。米国時間に発表された、2月フィラデルフィア連銀製造業景況指数や、先週の新規失業保険申請件数が弱い結果となったことがドル売り要因となりドル/円の下げが加速、149.40円まで下押しする動きとなった。本日のドル/円は上値重い展開を予想。昨年12月以来の149円台で押し目買いが入りやすいものの、日銀の早期利上げ観測は依然として重しとなっている。米関税懸念やウクライナ停戦協議の不透明感によるリスクオフで、対主要通貨全般で円の強さが目立っていることから円売りの流れにはなりにくく、ドル/円の軟調地合いは継続すると思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。